



校長室だより 7月号

一人ひとりがキラッとかがやき、笑顔にあえる学校

校長 寺垣 真二

<人のために役に立つこととは>

いよいよ7月になりました。1学期のしめくくりの時期でもあります。この間、入学式や遠足、種々の交流行事などでは、自分の役割を一つ一つ果たしながら子どもたちは日々成長してきました。1年生もすっかり学校になれ、落ち着いて学習や体力づくりに励んでいます。



さて、先日、私の友人の一人が、交通事故の場面に遭遇しました。私の友人は、怪我人を救護して、事故車を邪魔にならない場所に移動させ、交通整理をおこなっていました。すると、交通整理をしている友人に「何しとんじゃ、はよ通らせろ」と言い残し車が通り過ぎていったらしいです。私の友人は、自分が事故した訳でもなく、人助けをしようと必死になり、慣れてもない交通整理を自らおこなったわけです。当然、感謝される人になるわけですが、心もとない、自分勝手な人の言動により、少し落ち込んだと聞きました。もちろんその友人に、合っているのは、「あなた」だと励ましましたが・・・。

私は、子ども達に「人のためになる事をしなさい」といつも教えています。それと同時に、自分勝手な自己中心的な人になってほしくないと思っています。

今、個性や多様性が大事にされている世の中になってきており、自分勝手な言動も個性として認められがちになり、それが、周囲にいる人に嫌な気持ちにさせてしまうケースが多々見受けられます。もちろん個性は、大事です。しかし社会には、ルールがあり、それに則って生活をしていかなければなりません。学校社会も同じだと考えます。自分のことを優先することより、人のことを考えられるように、この義務教育の時期にしっかり身につけてほしいと考えます。自分のことだけでなく、人のために、人の役に立つ言動ができる立派な大人になるために・・・日々の生活の中で、学校という集団生活の中で、みんなと一緒に学んでいってほしいと願います。

【安心・安全・命だいの観点から】

通学路・水路パトロール

さきほどの話ではありませんが、交通安全に注意して通学しないといけません。また水路も危ないですので、命だいの観点からパトロールにご協力いただきました。ここに写っていない方もいますが、お忙しい中、見守りありがとうございました。



緊急時下校指導

5月28日（火）に大雨の影響で急遽、指導を兼ねて緊急時の下校を行いました。本校では、地震、火災、外部からの侵入といった様々な事象を想定して、指示・情報を聞く、現状を知る、次の行動を想定する、素早く避難するという手順を踏んで訓練や指導を実施しています。

一人ひとりの安全を確実に確保するという心構えで取り組んでいますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



<見守り隊・青パト感謝朝会から>

6月11日の火曜日、見守り隊の方や青パトの皆様に来ていただき、日頃の感謝を述べる朝会をおこないました。本校児童のために毎日見守りにご協力いただいているおかげで、安心・安全に登下校ができています。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

